

下檜沢ミニミニ新聞

製作者：デザインラボ osakada.net
小坂田秀之
発行時期：不定期

十二月十日（日）、宿里「ミニミニセンター」にて、小坂田夫妻が企画・主催した個人イベント『新そばの宴』が開催されました。ぽかぽか陽気に包まれる中、近隣の方を中心に多くの方が足を運び、この秋採れた約70食の蕎麦が振舞われました。

食材提供に嬉しい悲鳴

豪華な百円ランチに



『当初は、仕込み作業の負担とコスト負担を懸念して、キノコとごぼうのみのシンプルなもの、あん汁を予定していました。が、予想を超える食品提供の申し出を受け、豪華なけんちん汁

楽しい交流と新蕎麦に舌鼓み

ワンコインで新蕎麦を振舞う交流イベントに賑わう



になりました」と満面の笑顔で語る、小坂田恵理さん（54）。けんちん汁とお蕎麦に加え、差し入れのみかんや干し柿、御新香まで振舞われ、とてもワンコイン（百円）メニューとは思えない豪華っぷりだ。お店では味わえない、地域の方々の信頼と協力あつここの魅力だろう。今回の経験を活かし、さらに地域を盛り上げていきたいと恵理さんは語る。

当日振舞う蕎麦は、恵理さんが蕎麦打ち仲間とともに五十名分を事前に準備していたが、蕎麦打ち名人の小林久さんが当日応援に駆け付け、追加分の蕎麦を準備頂いた。久さんの蕎麦打ちが始まったとたん、厨房は見学者のひとだかりで賑わい、イベントに華やかさを添えてくれた。

小林久さんの蕎麦打ち 実演に賑わう厨房



大森選手のスクールに参加のため台湾から来訪中の皆様にも蕎麦が振舞われた

バイクスクール、ひより 大量注文にて「応援」

大森雅俊さん率いるバイクスクール（MSClub）とグループホームひよりからは、会場に足を運ばないにも拘わらず多くの注文で力強い応援をいただいた。スクールの皆様から届いたビデオメッセージには、スタッフ一同の感謝と笑顔が溢れた。

主催者の声



小坂田 恵理

多くの皆さまの協力、応援のおかげで、想定以上に素敵な会となりました。会場を使わせていただいた自治会をはじめ、ご参加いただいた皆様、食材や労力を提供くださった方々、励ましの声をかけてくださった方々すべてに、心より感謝申し上げます。



宴会場と化した大広間 おしゃべりに花を咲かせるご近所グループの方々

※本紙はあくまで個人の趣味で作成したものであり、公的なものではありません。